

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた多様で柔軟な教育課程編成及び確かな学力の育成を図るため組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②基礎・基本の定着に向けて学び直しや少人数授業を積極的に取り入れるとともに、様々な学習支援の方法について研究を進め、生徒一人ひとりに向き合う教育実践に取り組む。</p> <p>③学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動を促進する。</p>	<p>②学校全体の取組として位置付いた学び直しをさらに深化させ、学習支援の視点に立った授業実践を行う。</p> <p>②進路実現プロジェクトを充実させるとともに、放課後を活用し、個別指導や発展的学習を行う。</p> <p>③学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動を促進する。</p>	<p>②昨年度に引続き、外部講師を招聘し、学び直しや確かな学力育成に関する教員研修会等を実施する。</p> <p>②生徒の学習ニーズを把握し、それに合った講座の設定を検討する。</p> <p>③学校全体で早めに学校行事に向けた準備を始め、生徒の意識を高揚させ、学校行事への参加率の向上を図る。</p>	<p>②学び直しや確かな学力育成のスタイルを構築することができたか。</p> <p>②進路実現プロジェクトの講座の充実が図れたか、生徒の参加は十分であったか。</p> <p>③学校行事への生徒の参加率の向上が図れたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①生徒理解に基づく「温かくかつ厳しい毅然とした生活支援」を目指し、教育相談等個に応じた支援体制の充実を図る。</p> <p>②部活動の活性化をとおして、自主自律の精神や責任感、連帯感を涵養する。</p>	<p>①生徒・保護者に浸透してきた服装指導、頭髪指導、遅刻指導を徹底し、規範意識と実行力を涵養する。</p> <p>①家庭生活に課題を有する生徒を支援するための教育相談体制をより一層発展させ、チームでの対応を行う。</p> <p>①学校いじめ防止方針に基づく取組の実施状況を把握し、いじめの未然防止及び早期発見を図る。</p>	<p>①服装指導、頭髪指導、遅刻指導を3本の柱として、段階的指導による指導の徹底を図り、生徒自らが能動的にルール、マナーを守る意識と環境の構築を学校全体でブレずに取り組んでいく。</p> <p>①日常的に家庭との連携を強化するとともに、PTAによる年3回のメール便を有効活用し、学校の指導方針の理解や協力を求める。</p> <p>①生徒情報連絡会議をはじめ、関係教職員で生徒の抱える課題を共有するとともに、SCやSSWなどとの高密度の連携を押しすすめるなど、チームでの対応を推進する。</p> <p>①「いじめは絶対に行ってはならない」ということを生徒に周知・徹底し、個人面談や教育相談及び生徒対象いじめアンケート調査を行う。</p>	<p>①生徒自らが能動的にルール、マナーを守る意識が向上したか。</p> <p>①地域等からの評価が得られたか。</p> <p>①メール便の内容は工夫できたか。</p> <p>①学校全体または関係職員間での情報共有と、支援方針の策定と実施が効果的に行われたか。</p> <p>①学校生活の中で、道徳教育及び体験活動等の充実が図れたか。</p> <p>①個人面談等、きめ細かく積極的に取り組めたか。</p> <p>①いじめアンケート調査を行い、情報収集し、早期発見できたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが自らのキャリア発達を意識し、「将来の生活の充実」「自分らしい生き方」を実現するために必要な能力や態度の育成を目指し、進路指導の充実を図る。	○総合的な学習の時間やLHRを中心として、あらゆる教育活動においてキャリア教育を充実させる。 ○生徒一人ひとりが主体的に進路を決定する能力・態度を涵養するために、3年間にわたる系統的なキャリア教育と進路指導を行う。	○「学ぶことと働くこと」「自分がしたいこと・できること」「社会が求めること」など生き方に係る指導実践を行うとともに、シチズンシップ教育の充実を図る。 ○年間計画に基づくキャリア教育と進路指導により、生徒一人ひとりに対する個別のキャリア形成を実現する。 ○基礎力診断テスト結果などを活用して、生徒の学習意欲の向上につながるよう、きめ細かな支援を行う。	○キャリア学習において、生徒一人ひとりの満足度を高めることができたか。 ○生徒一人ひとりに対する個別の進路実現が達成できたか。 ○進路未定率が前年度より減少したか。					
4	地域等との協働	①地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。 ②ボランティア活動を充実させ、社会性や思いやりの心を育み自己肯定感を高める。	①②地域の清掃活動等ボランティア活動への参加を勧め、地域に根ざした学校、及びそこで学ぶ生徒としての役割を自覚させる。	①②地域の清掃活動等ボランティア活動計画の事前告知を徹底し、その意義を周知し、生徒の興味・関心を高揚させ、参加生徒を増やす。	①②地域の清掃活動等ボランティア活動への参加人数(割合)が前年度より増えたか。 ①②清掃活動以外のボランティア活動に参加する生徒がいたか。					
5	学校管理 学校運営	「生徒が行きたい学校」「保護者に信頼される学校」を目指し、教職員一人ひとりが積極的に課題改善に取り組み「教職員が生き生きとしている学校」づくりを進める。	○校内美化を重点項目とし、清掃活動に率先して取り組む態度を養成する。 ○ミスを事故につなげない体制をつくる。	○日課に位置づく清掃時間を確保するとともに、清掃用具の点検や充実を徹底して校舎内をきれいに保つ。 ○業務のマニュアルを徹底して実行するとともに、気になることにお互いに声をかけ合い事故を防止する。 ○職員会議前の時間を利用し、各グループが主体となった事故防止会議を設定する。	○日課としての清掃を全クラスで実施できたか。 ○校内美化を維持できたか。 ○事故防止が図れたか。 ○各グループが主体の事故防止会議を10回以上行うことができたか。					